

第271号（25期 第4号）

2007年7月25日発行

光が丘ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-11-511

発行責任者 塩原 繼雄

ゆり 北

〔今号の主な記事〕

1面…団地内防災設備見学会

2面…夏まつりのお知らせ

3面…ゴミ分別変更、長寿を
祝う集いのお知らせ

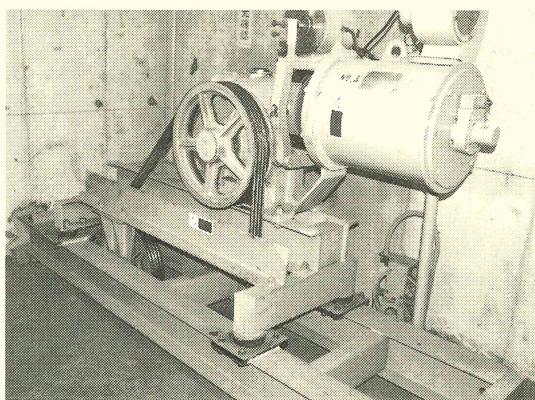
4面…自治会からのお知らせ

団地内防災設備見学会を実施（6月30日）

備蓄倉庫やエレベータ機械室を見学したよ

防災設備見学会は、住民の皆様に団地内の様々な防災設備を知っていただくために毎年実施しています。今年は6月30日（土）午後2時から行いました。

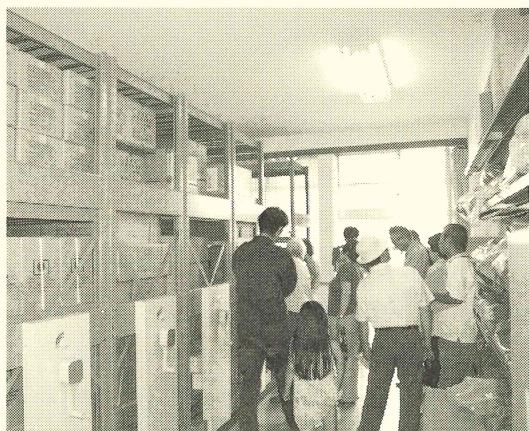
今回は、（株）日立ビルシステムと光が丘CIS（ケーブル・インフォメーション・システム）、板橋区防災課の担当者に出席を要請し、団地内の防災設備、赤塚新町小学校内の非常用深井戸と備蓄倉庫の説明をしてもらいました。ワイヤーロープ破断が騒がれたエレベータですが、団地内は点検を行い、全エレベータにおいて異常がないことが確認されたことの報告がありました。ワイヤーロープは使用環境や使用頻度によって劣化速度が違うために一概に寿命年数は割り出せず、保守点検によりワイヤーロープの交換時期を判断することです。



十一号棟最上部の
エレベーター機械室

CISからは、エレベータ監視の詳細が説明されました。監視室には常時3人が駐在。稼動中のエレベータが内を映し出す「ゆり北専用モニター」（2秒ずつで順次切り替わる）が1台設置されており、映像は逐次監視され、かつハードディスクに10日程度は保存されるということです。

赤塚新町小学校の備蓄倉庫には、「災害発生直

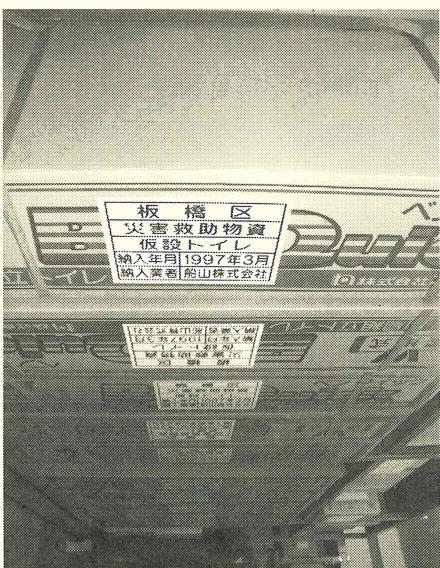


赤塚新町小学校内の備蓄倉庫を
見学する参加者のみなさん

後の避難所運営に最低限必要なもの」（板橋区防災課）が備蓄されているとのことです。例えば、アルファ化米の6万食をはじめ、仮設トイレや破壊用救助器具などがあります。運動会などで使用されるような大きなテント（10張）は、避難時に混乱せずに組み立てられるようにとセットごとに色分けされています。

仮設トイレは今年、組み立て易い水洗タイプが備蓄に加わりました。

10月に行われる「ゆり北防災訓練」の時に、同タイプの訓練を予定していますので、どうぞご参加ください。



（防犯防災部）

みんなで作ろう！ そして、みんなで楽しもう！！

今年の夏まつりは、8月25・26日

～～ボランティア、模擬店・フリーマーケット出店者を大募集～～

恒例の「ゆりの木夏まつり」が近づいてきました。今年は8月25日（土）・26日（日）に開催します。実行委員会やこども実行委員会を行い、多くの方に参加していただける楽しい夏まつりとなるよう準備をすすめています。また、夏まつり開催

にあたって、準備・運営にご協力いただけるボランティア、模擬店・フリーマーケットへの出店者を次のとおり募集しています。みなさん奮ってご参加いただけようお願いいたします。なお、詳細は自治会役員までお問い合わせください。

【ボランティア】	舞台設営	19日（日）10時～13時 25日（土）9時～12時
	会場設営	25日（土）・26日（日）13時～15時
	警備・清掃	25日（土）・26日（日）16時～22時
	本部・ステージ	25日（土）・26日（日）16時～22時
	お楽しみコーナー	25日（土）・26日（日）14時～19時（一部は21時まで）
	模擬店	25日（土）15時～20時30分 26日（日）15時～20時
【出店者】	フリーマーケット	25日（土）・26日（日）15時～19時30分

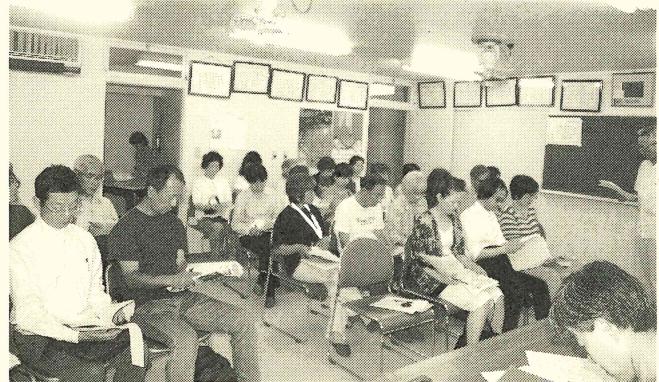
2007年度

第1回世話人会議を開催しました

自治会では様々な活動を行っていますが、役員（23名）のみで対応することは困難ですし、会員の声を吸い上げることも十分にはできません。そこで、役員と会員との間を取り持つとともに、様々な自治会活動に参加し、お手伝いいただきながら、自治会活動をより良い方向に持って行くために、皆様方に世話人をお願いしています。原則的に、世話人は階毎または階段毎の輪番制で、任期は1年です。

今年度の世話人35名に呼びかけて、6月30日に第1回世話人会議を開催しました。まず塩原会長から板橋区や下赤塚地区の町会関係、新町小学校関係の報告の後、各専門部から年間活動計画の説明をしました。特に5月30日以降、深夜1時に新町集会所前、午後10時過ぎにエレベータ内など、団地内及び周辺で3件の痴漢事件が発生し、その報告と合わせて、例えば①駅まで家族が迎えに行く、②後をつけられないように、棟の近くまでタクシ

ーで帰ってくる、③エレベータに乗る際には知らない男性と2人きりでは乗らない、④エレベータに乗ったら、非常ボタンを横に見ながら、壁を背にしてエレベータ内を見渡すように立つというような対策を各家庭で話し合うこともお願いしました。



熱心に説明を聞く世話人のみなさん

次に、来月に迫った「ゆりの木夏まつり」への協力のお願い、また7月8日（日）の「自治会相談窓口」と「ゆりの木ひろば」の内容、そして自治会費の集金を説明して散会となりました。

（事務局）

10月1日からゴミの分け方・出し方が変わります！

～～資源を分別して大切に活用しましょう～～

6月3日（日）・5日（火）にゴミ・資源の分別変更に関する板橋区の説明会がありました。

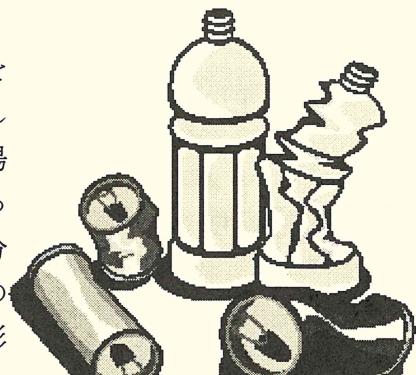
主な変更内容は、現在不燃ゴミとして出しているプラスチック類・ゴム製品類・革製品類を可燃ごみとして出すことになり、不燃ゴミとして残るのはガラス類・陶磁器類・小型の金属類・小型の家電製品ということです。

これにともない収集回数は、可燃ゴミが週2回から3回に、不燃ゴミが週1回から2週間に1回（半減）に変わります。

また、あわせて資源（食品用トレイ・ボトル容器）の拠点回収が始まります。ゆり北に近い拠点は赤塚支所、あさひが丘保育園・児童館です。なお、食品用トレイは今までどおりスーパー「よしや」に出せます。ペットボトル・缶・ビン類は資源として活用されますのでごみに出さないで分別

してください。

今回分別区分を変更する理由としては、最終処分場に余裕が無くなつたこと、焼却処分をしても焼却場の能力・環境への影響がないことから



焼却して熱エネルギーを回収（サーマルリサイクル）することが上げられています。

板橋区から区民への今後の説明方法としては、9月中旬にチラシ・広報紙等が予定されていますが、自治会ではそれに先立ち8月号の会報「ゆり北」で詳細を掲載する予定です。

(生活環境部)

「長寿を祝う集い」のお知らせ

9月17日（敬老の日）に65歳以上の方対象で行います。多くの方のご参加をお待ちしています。

自治会では、今年も敬老の日に「長寿を祝う集い」を開催いたします。昼食を召し上がりながら演芸などをご覧いただき、楽しいひとときを過ごしていただく集いです。近所の方々と交流し親睦を深めていただければ幸いです。

7月下旬から8月上旬にかけて、ゆり北団地の全世帯に「長寿を祝う集い」のご案内を配布いたします。9月17日現在65歳以上で参加ご希望の方は、出席票をお出しください。皆様お誘い合わせの上、是非ご出席ください。

- 対象 65歳以上の方
- 日時 9月17日（月・敬老の日）
午前11時～
- 場所 赤塚新町光が丘集会所
(赤塚新町公園となり)
バリアフリーの洋室で外履きのまま入れます。車椅子用トイレもあります。
- 会費 無料

(福祉部)

子どもたちも楽しくお手伝い

フラワーボランティア「花を咲かせたい」のみなさんの手によって、いつもきれいなゆりの木商店街の花壇です。この日、花壇の手入れを手伝う子どもたちの姿が見られました。（カラーでお見せできないのが残念！）



セーフティー教室に参加しました

一保護者 K

6月30日（土）、赤塚新町小学校の学校公開の際に行われたセーフティー教室に参加しました。

第1部は不審者侵入対応訓練、第2部は児童対象のセーフティー教室、第3部は保護者・地域対象のセーフティー教室という構成でした。

ゆり北自治会の塩原会長は、スクールガードや見守り隊の活動、自治会の夜間パトロールの活動、5月末からの3件の痴漢事件、下校後の子どもの安全などについて、地域の立場から発言を行いました。

昨今の子どもを巻き込んだ事件の多さは、子を持つ親としては大変心配なことです。子どもが戸外で元気に遊ぶことは当然のことですし、年長になるほど行動範囲も広がります。それに大人が常に付き添うことはできませんし、心配のあまり戸外で遊ぶことを規制することもできません。子どもと安全について話をすること、子どもが安心して生活できるよう保護者・学校・地域が協力することがたいへん大切だと感じたセーフティー教室でした。



保護者・地域対象のセーフティー教室



発言する
塩原会長

PPキャップ回収100万個突破 ～～ボランティアを募集しています～～

PPキャップ・リサイクル・ボランティア

代表 市東隆光

PP（ポリプロピレン）キャップの回収は、資源の有効活用（リサイクル）及び環境保全（ごみの減量等）を目的として、2005年ゆりの木夏まつりから始まりました。本年2月末までの累計が2518.5kg、キャップ数に換算して100万個になりました。住民のみなさんのご協力に心から感謝します。

再生メーカーには1kgあたり10円で引き渡しており、昨年末までの収入総額は22,110円となりました。

3月6日、この全額を社会貢献活動の一環としてNPO法人「世界のこどもにワクチンを日本委員会」（代表 細川元総理夫人）に寄付しました。今、世界の開発途上国ではワクチンがないために感染症によって毎日6,000人もの尊い子どもの命が失われていますが、2,000円で100人の子供の命を救うことができる事を知り、この運動に賛同し寄付をしました。キャップの回収にご協力いただいている住民のみなさんに心から感謝いたします。なお、この運動には引き続き参加していきます。

環境問題の解決は、「身近なところから一人一人が行動を起こすこと」と言われています。たかが小さなキャップですが、燃やすと二酸化炭素が発生します。地球温暖化防止、資源の有効活用のために今後とも住民のみなさんのご協力をお願いします。

毎月第2・4日曜日の午前10時から各ゴミ集積所のキャップの回収作業を行っております。お手伝いいただける方は11号棟防災倉庫前にお集まりください。

自治会からのお知らせ

★ 下赤塚地区防災訓練にご参加ください。

●実施日 8月26日（日）午前

●会場 下赤塚小学校

※ 集合時間と集合場所、主な訓練内容については、別途お知らせします。

★ 夏季夜間パトロールを実施します。

自治会では、7月中旬から9月中旬まで、管理組合と協力して団地内の夜間パトロールを実施します。

パトロールでは、不法駐車・放置自転車・ゴミの不法投棄のチェックと記録、不審者やエレベーターホール・ベンチでのたむろのチェックなどを実行しています。

これまでの夜間パトロールは夏季と年末のみでしたが、毎月1~2回実施することも検討しています。